

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	星和電機株式会社 新棟新築	階数	地上4F
建設地	京都府城陽市	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	160 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年12月 予定	評価の実施日	2010年4月28日
敷地面積	30,719 m <sup>2</sup>	作成者	田村一級建築設計事務所 国松
建築面積	1,685 m <sup>2</sup>	確認日	2010年4月28日
延床面積	6,555 m <sup>2</sup>	確認者	田村一級建築設計事務所 望田



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Q のスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0

**LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	社会的ストックとしての良好な工場空間の実現と、安全で快適なものづくりの空間の提供。	<b>その他</b> 建物外周には断熱を行い、居室の外部開口部はペアガラスを採用、空調負荷を抑える。屋根は外断熱工法を採用。
<b>Q1 室内環境</b>	LED照明による十分な作業照度の確保。騒音対策においては防音サッシを採用。シックハウス対策においては全ての仕上げを告示対象外又はF☆☆☆☆を使用。クリーンルームにおいて恒温恒湿空調の採用。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 屋上緑化及びバルコニーにフラワーボックスを設置し、建物に自然環境を取り入れることにより、温熱環境と快適性の向上と、景観に配慮。
<b>LR1 エネルギー</b>	全館主照明にLED照明器具を採用し、エネルギー消費を抑える。	<b>LR3 敷地外環境</b> 屋上緑化の採用。
<b>Q2 サービス性能</b>	製造エリアの広さ及び階高を確保し作業の快適性を向上。無停電装置の採用。休憩室、バルコニー、屋上緑地遊歩道などリフレッシュスペースの確保。製造機械の将来増設に備えて余裕のある積載荷重の設定。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	リサイクル材料の採用。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■ LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい